



ケンブンスイッチ

9月号



エシカルな消費の推進に。 「コットンペーパー」という選択肢。

近頃「エシカル」という言葉を耳にしませんか？直訳すると「ethical=倫理的」という意味ですが、経済の文脈、たとえば「エシカル消費」では、「人や社会、環境に配慮した消費活動」を意味します。今回は使うことで「エシカル消費」に結びつくエシカルな「紙」のひとつ、コットンペーパーをご紹介します。

【東北コットンペーパー】

「東北コットンプロジェクト」で栽培された綿の茎からとった繊維と森林認証パルプを原料に生産されたコットンペーパーです。「東北コットンプロジェクト」とは、東日本大震災の津波被害により稲作等が困難になった農地で塩に強いとされる綿を栽培し、さらに紡績、商品化、販売まで一貫して行うことで東北での新規農業形態を支援する共同プロジェクト。「紙」の他にもタオル、Tシャツなどが製品化されています。

【タンザニアコットンペーパー】

タンザニア産有機栽培綿花の「落ち綿(わた)」と森林認証パルプを原料に作られるコットンペーパーです。落ち綿とは、衣服のため

の糸を作る過程で出る繊維の短い綿のことで、繊維が短いため用途が限られ、結果、使われずに廃棄されることもありました。それを紙の材料とすることで無駄がなくなり、現地の人たちの収入として還元できるので、産地の応援にもつながります。

▼コットンペーパーの活用例

研文社グループが運営するWEBメディアKizuki.Japanにて、手作りコットンペーパーと活版印刷を組み合わせる名刺やカードを制作するデザイン工房取材しました。詳しくはコチラ→
https://kizukijapan.jp/creators_voice/cotton-paper/



綿花